



Oracle® Crystal Ball

リリース 11.1.2.3.000

Readme

ORACLE
ENTERPRISE PERFORMANCE
MANAGEMENT SYSTEM

目次

目的	2
このリリースでの新機能	2
インストール情報	2
サポートされているプラットフォーム	2
サポートされている言語	3
このリリースで修正された問題	3
既知の問題	3
ヒントとトラブルシューティング	5
ドキュメントの更新事項	5
ドキュメントのフィードバック	5
アクセシビリティの考慮事項	6

目的

このドキュメントには、Oracle Crystal Ball 製品および関連製品のこのリリースに関する重要な最新情報が含まれています。Crystal Ball をインストールする前に、この README をよくお読みください。

このリリースでの新機能

Oracle Crystal Ball New Features を参照してください。

このリリースのインストール、アーキテクチャおよび配置の変更に関する新機能の詳細は、Oracle Crystal Ball Installation and Licensing Guide を参照してください。

リリース 11.1.2.0、11.1.2.1 または 11.1.2.2 からアップグレードする場合に、これらのリリース間で追加された新しい機能のリストを確認するには、累積的な機能の概要ツールを使用します。このツールでは、現在の製品、現在のリリース・バージョン、およびターゲット実装のリリース・バージョンを識別できます。1 回のクリックで、ツールは迅速に、現在のリリースとターゲットのリリース間に開発された製品機能の高度な説明のカスタマイズ・セットを生成します。このツールはこちらにあります:

<https://support.oracle.com/oip/faces/secure/km/DocumentDisplay.jspx?id=1092114.1>

インストール情報

Crystal Ball 製品のインストールに関する最新情報は、この README と Oracle Crystal Ball Installation and Licensing Guide を参照してください。また、Crystal Ball のライセンス・コードの取得および適用に関する情報は、License Key Request Process.html を参照してください。Crystal Ball をインストールする前に、ここに記載された情報をよくお読みください。

サポートされているプラットフォーム

Crystal Ball および関連製品のシステム要件とサポートされているプラットフォームの詳細は、Oracle Crystal Ball Installation and Licensing Guide を参照してください。Oracle Enterprise Performance Management System Certification Matrix も参照してください。このマトリックスは、OTN の「Oracle Fusion Middleware Supported System Configurations」ページに記載されています:

<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/ias/downloads/fusion-certification-100350.html>

Oracle Crystal Ball Enterprise Performance Management または Oracle Crystal Ball Enterprise Performance Management for Oracle Hyperion Enterprise Planning Suite をインストールしてある場合、互換性に関する追加情報は、Oracle Crystal Ball Enterprise Performance Management Integration Guide を参照してください。

サポートされている言語

Crystal Ball でサポートされている言語の詳細は、Oracle Crystal Ball Installation and Licensing Guide を参照してください。Crystal Ball のこのバージョンのユーザー・インタフェースおよびヘルプはフランス語、ドイツ語、日本語、ポルトガル語、スペイン語に翻訳されています。

このリリースで修正された問題

この項には、リリース 11.1.2.3.000 で修正された不具合が含まれます。以前のリリース間で修正された不具合のリストを確認するには、不具合修正ファインダを使用します。このツールでは、所有している製品と現在の実装リリースを識別できます。1回のクリックで、ツールは迅速に、修正された不具合の説明とそれに関連付けられているプラットフォームおよびパッチ番号のカスタマイズ・レポートを生成します。このツールはこちらにあります:

<https://support.oracle.com/oip/faces/secure/km/DocumentDisplay.jspx?id=1292603.1>

- 7403337 - CB ツール: 255 を超える仮定に対しては、相関マトリックス・ツールを実行できません(フォーマットが要求されていない場合は 256)。
- 13802839 - ローカライズ: サポートされている言語の Windows、システム・ロケールおよび Microsoft Office で Crystal Ball を実行する場合に、Crystal Ball の「ようこそ」画面が表示された後、Crystal Ball ユーザー・インタフェースが英語に戻ります。
- 13811562 - Microsoft .NET Framework 4.0 のみをインストールして Crystal Ball の実行を試行すると、設定エラーが発生します。

既知の問題

このリリースで注意が必要な既知の問題は次のとおりです。

- 7407256 - Crystal Ball Developer Kit: 常に英語のリスト区切り文字(,)および英語の小数点(.)を使用してください。
- 7475110 - 他の Oracle EPM 製品との統合: Strategic Finance 設定ウィザードを使用して Strategic Finance ワークシートを作成し、グラフを最小化し、ワークシートを非表示にして Crystal Ball シミュレーションを実行する場合、シミュレーションを手動では停止できません。

回避策: Crystal Ball コントロール・パネルの「Crystal Ball」ツールバー・ボタン、および「実行」メニューで、グラフを最大化し、ワークシートを表示した状態でシミュレーションの制御が可能です。

- 7482940 - 他の Oracle EPM 製品との統合: Strategic Finance 設定ウィザードを使用して、サーバー・ベースのエンティティで Strategic Finance ワークシートを作成すると、サーバーの実際の URL がリストされません。

ユーザー指定のサーバー名のみが、設定ウィザードの「エンティティの選択」パネルに表示されます。

- 8676929 - 他の Oracle Enterprise Performance Management (EPM)製品との統合: 最適な結果を得るために、Crystal Ball の「定義」、「セル・プリファレンス」コマンドを「Smart View」ワークシートに使用しないでください。

- 9074866 - 範囲名: Crystal Ball ワークブックを Microsoft Office Excel 2007 で再度開く場合に、範囲名が非表示になることがまれにあります。

修正: <http://www.microsoft.com> からダウンロードできる次の Microsoft アップデートのうち 1 つをインストールします: Microsoft Security Update for Microsoft Office Excel 2007 (KB969682)、リリース日付: 6/8/2009 または Microsoft Security Update for Microsoft Office Excel 2007 (KB973593)、リリース日付: 11/9/2009。

- 9550147 - 最高速モード: Microsoft Excel 2002 (XP)および Microsoft Excel 2003 で、1024 文字以上の数式を含む Crystal Ball モデルを最高速モードで実行すると、予期しないエラーが発生することがあります。

回避策: 1024 文字未満の数式を使用するか、Microsoft Excel のより最近のバージョンを使用します。

- 10046029 - 64 ビットの OptQuest: 指定したシード値について、OptQuest シミュレーションの計算が Crystal Ball Decision Optimizer の 32 ビットバージョンと 64 ビットバージョンでわずかに異なり、最適化パスに影響することがあります。

意思決定変数のわずかな変化でもモデルで検知される場合、2 つのバージョンの最適解が異なる場合があります。

- 10051948 - 64 ビットの Crystal Ball: Crystal Ball の 32 ビットと 64 ビットのバージョンでは同じ計算アルゴリズムを使用していますが、モデルのパラメータや他のエッジ条件が極端に大きい小さいと、バージョン間で結果が異なる場合があります。

- 10284043 - コントロール・パネル: 特定のマシン・システムのタイマー環境では、Crystal Ball のコントロール・パネルとレポートに実行時間 0 のシミュレーションまたは最適化が表示される場合があります。

- 10303159 - パフォーマンス: Crystal Ball 通常モードのシミュレーション実行は、Microsoft Euro Currency Tools のアドインがロードされている場合、Microsoft Excel では非常に遅くなります。

- 11065176 - OptQuest: 使用中のワークブックと、開いている別のワークブックの 2 つが OptQuest 設定に関連しておらず、2 つ目のワークシートで仮定が定義されている場合、もう一方で仮定が正しく実行されません。

回避策: 2 つ目のワークブックを閉じるか、その中の仮定をすべて固定します。

- 16371874 - Oracle Hyperion Smart View for Office 統合: Smart View をインストール済で、Microsoft .NET Framework 4.0 を Microsoft Excel 構成ファイル(強制ロード)でプライマリに設定している場合に、Smart View 拡張機能をロードするように設定するか、「オプション」ダイアログ・ボックスを開いて Smart View 拡張機能を表示すると、Microsoft Excel 2007 が予期せずに終了します。.NET 2.0 のロードが許可されている場合、Smart View はロードしますが、拡張機能は使用できません。

回避策: Oracle Hyperion Smart View for Office の「オプション」ダイアログ・ボックスで、「ログ・メッセージ表示」を「プロファイル」に設定します。

- 16489495 - ローカライズ: Microsoft Windows 7 上の Microsoft Excel 2010 で 64 ビットのドイツ語バージョンの Oracle Crystal Ball の実行中に、「仮定の定義」、「相関」、「意思決定変数の定義」および「実行プリファレンス」ダイアログ・ボックス内の数字が、選択したローカライズされた数値形式(123.456.789,00)に従いません。
- 16596912 - 起動:特定のアドインが Microsoft Excel にインストールされていると、断続的に次のファイルの欠落エラーが表示される場合があります: "***.xlsx"が見つかりませんでした。"パッチが使用可能です。

ヒントとトラブルシューティング

このドキュメントにない、インストールと起動に関する問題は、Oracle Crystal Ball Installation and Licensing Guide のトラブルシューティングに関する項を参照してください。

ドキュメントの更新事項

EPM System 製品ドキュメントへのアクセス

各 Oracle Enterprise Performance Management System 製品ガイドの最新版は、OTN Web サイトの EPM System ドキュメント領域(<http://www.oracle.com/technology/documentation/epm.html>)からダウンロードまたは表示できます。EPM System Documentation Portal(<http://www.oracle.com/us/solutions/ent-performance-bi/technical-information-147174.html>)も使用でき、EPM Supported Platform Matrices、My Oracle Support およびその他の情報リソースへのリンクもあります。

配置関連のドキュメントは、Oracle Software Delivery Cloud Web サイト(http://edelivery.oracle.com/EPD/WelcomePage/get_form)からも入手できます。

個別の製品ガイドは、Oracle Technology Network Web サイトからのみダウンロードできます。

PDF からのコード・スニペットのコピーと貼付け

PDF ファイルからコード・スニペットを切り取って貼り付ける際、貼付け操作時に一部の文字が失われる場合があります、これによりコード・スニペットが無効になります。回避策: コード・スニペットを HTML バージョンのドキュメントから切り取って貼り付けます。

ドキュメントのフィードバック

製品のドキュメントに対するフィードバックは次の電子メール・アドレスに送信してください。

EPMdoc_ww@oracle.com

次のソーシャル・メディア・サイトの EPM 情報開発をフォローしてください:

- YouTube - <http://www.youtube.com/user/OracleEPMWebcasts>
- Google+ - <https://plus.google.com/106915048672979407731>
- Twitter - <https://twitter.com/HyperionEPMInfo>
- Facebook - <https://www.facebook.com/pages/Hyperion-EPM-Info/102682103112642>
- Linked In - http://www.linkedin.com/groups?home=&gid=3127051&trk=anet_ug_hm

アクセシビリティの考慮事項

オラクル社では、障害のあるお客様にもオラクル社の製品、サービスおよびサポート・ドキュメントをご利用いただけることを目標としています。EPM System 製品は、製品のアクセシビリティ・ガイドに記載されているアクセシビリティの機能をサポートします。このガイドの最新版は、Oracle Technology Network の Oracle Enterprise Performance Management System Documentation Library(<http://www.oracle.com/technology/documentation/epm.html>)にあります。

また、この README ファイルは HTML 形式で提供され、アクセシビリティ機能がサポートされます。

著作権情報

Crystal Ball Readme, 11.1.2.3.000

Copyright © 2013, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

著者: EPM 情報開発チーム

Oracle および Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS:

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション（人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む）への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。